資料 1-1

次期行政経営方針（素案）について

基本構想の着実な推進を下支えし、行財政運営の基本的な方向性と取組方針を明確にする次期行政経営方針について、今般素案を取りまとめたところ。

1　素案のポイント

人口構造の変化やＡＩ技術の進展等、社会情勢が大きく変化する中で、2050 年を見据えた行政経営のリ・デザイン（再構築）に取り組む。

(1) 変革に向けた重点取組（３本柱）〔素案Ｐ.9～11〕

経営資源に横ぐしを通す取組として、３点を重点取組に設定。

【重点取組１】未来への挑戦に向けた人員と財源の戦略的マネジメント〔Ｐ.9〕

「部分最適から全体最適へ」「短期から中長期へ」「県(庁)から県域／広域へ」

【重点取組２】ＡＩ・デジタルを徹底的に活用した業務変革〔Ｐ.10〕

業務変革につなげるＡＸへ高めていくことを打ち出し。

【重点取組３】県域での経営資源の最適化／広域・官民の連携〔Ｐ.11〕

県域全体/広域を俯瞰した経営資源の最適化の視点を新たに提示。

(2) 経営資源ごとの取組〔素案Ｐ.12～19〕

【ヒト】人材確保、成長とやりがいの実感、支えあいによるチーム力強化という３つの観点から取組を実施。

【財源】歳入の確保、歳出の最適化、県債残高と公債費の管理を一体的に実施。

【財産】施設の計画的な更新・改修、機能の維持向上、維持管理の効率化および将来を見据えた総量・機能の最適化。

2　今後のスケジュール

時期	事項
令和８年 10 月 21 日	第７回滋賀県行政経営改革委員会（素案）諮問
10 月～11 月	県民政策コメントの実施
11 月 27 日	答申（委員長から知事へ手交）
12 月 24 日	第８回滋賀県行政経営改革委員会（原案）
令和９年３月	次期方針および実施計画　策定